

## 九州支部

**6例の検討**

久留米大第1外科 平城 守  
姜 定幸, 足達 明, 西村 寛  
磯辺 真, 枝国信三, 半井一郎  
同 第2病理 入江康司  
気管支カルチノイド手術例6例を検討した。リンパ節転移を認めた1例は予後不良であったが、他の肺癌に比しリンパ節転移率は低いと考えられ、気管支カルチノイドにおいては縮少手術の可能性が示唆された。

**32. 80才以上肺癌切除例の検討**

長崎市民病院外科 中田剛弘  
前田潤平, 天野 実, 林田政義  
同 内科 小森清和, 伊藤直美  
中野正心

昭和51年より現在までに切除した原発性肺癌78例中3例の80才以上症例を経験した。重篤な合併症はなかったが根治手術が不可能であった。2例は1年の生存を得たが、高齢者でも、予後を良好にするには、他の年齢層と同様の術式が必要であると考えられた。

**33. 高齢者肺癌患者の臨床的検討**

宮崎医大放射線科 楠元志都生  
月野治明, 長町茂樹, 渡辺克司  
当教室での高齢者肺癌患者の頻度は40.3%で、男女比は5:1だった。70才未満の群に比し、他疾患観察中に発見されたものが多く、予後は悪いが脳転移の頻度は少なかった。組織型では類表皮癌が多くて腺癌が少なく、予後については類表皮癌が最も良かった。

**34. 呼吸器外科開設後3年間の現況**

熊本中央病院呼吸器科  
中路丈夫, 衛藤安広, 木山程莊  
絹脇悦生  
同 病理研究科 大塚陽一郎  
原発性肺腫瘍で受診した患者

は、3年間で231名。そのうち、外科的切除ができたものは45名であった。数年来、結核腫や良性腫瘍として経過観察されていた者も多数あり、早期発見のために一層の努力が必要と思う。

**35. 肺癌手術症例の検討**

大村市立病院外科 大嶋 隆  
高木雄二, 猪野睦征, 橋口勝敏  
1980年より1984年までの肺癌症例は98例、切除例は24例、切除率は24.5%であった。病期分類は、I期13例、II期1例、III期9例、IV期1例であった。組織分類は、腺癌13例、扁平上皮癌6例、大細胞癌4例であった。これらの手術症例につき、生命表法により生存率を求め予後について検討した。

**36. 肺重複癌の3例**

鹿児島大第1外科 山王邦博  
西島浩雄, 有村利光, 富加見章  
浜之上雅博, 下高原哲郎  
馬場国昭, 田中俊正, 三谷惟章  
加治佐隆  
国療南九州病院 入来敦久  
江川勝志

症例1. S<sup>3</sup>のAdenoとS<sup>9</sup>のsmallで異時性。上葉切除及び中下葉切除、症例2はS<sup>1</sup>の低分化腺癌とS<sup>2</sup>の高分化腺癌。症例3はB<sup>1</sup>のSCCとS<sup>3</sup>のsmall.3例共右。後2者は同時性で共に上葉切除。

**37. 肺癌を含む重複癌の検討**

大分医大第2内科 山崎仁志  
小代泰子, 黒田芳信  
後藤陽一郎, 後藤 純  
田代隆良, 明石光伸, 那須 勝  
糸賀 敬

当科で経験した肺癌を含む重複癌8例について検討した。発生頻度は、15.4%で、男:女は、7:1であった。同時性5例、異時性3例で、組合せは、肺2例、胃、腎、子宮、脾、悪性リンパ腫、上頸洞各1例であった。

組織型では、扁平上皮癌が多くみられた。

**38. 肺線維症に合併した肺癌の4例—発症機序に関する1考察—**

熊本大第1内科 田中不二穂  
島津和泰, 菅 守隆, 興梠博次  
中嶋博徳, 安藤正幸, 荒木淑郎  
原因不明の肺線維症に合併した肺癌の4例を報告した。肺線維症と肺癌の発生に共通の外来性因子が関与している可能性が考えられ、今後の検討を要すると思われた。

**39. 肺線維症に合併した肺癌症例の検討**

長崎大第2内科 河野謙治  
岡三喜男, 神田哲郎, 斎藤 厚  
原 耕平  
S.55年～S.59年までに当内科に入院した原因不明のびまん性間質性肺炎、肺線維症に合併した肺癌症例は、5例(22.7%)であった。性別はすべて男性で、B.I 400以上の喫煙者であった。組織型は、扁平上皮癌、腺癌が各2例、小細胞癌1例であった。これら症例の臨床上の問題点について検討を行った。

**40. 原発性肺癌とサルコイドーシスを合併した1例**

長崎大第2内科 木下明敏  
鶴川陽一, 松本好幸, 河野謙治  
岡三喜男, 荒木 潤, 峰 豊  
神田哲郎, 斎藤 厚, 原 耕平  
同 第1外科 綾部公懿  
富田正雄  
同 中央検査部 津田暢雄  
症例は74才。肺癌術後摘出肺より腺癌の他、癌部及び非癌肺内に多数のサルコイド結節を認め、眼病変・諸検査についてサルコイドーシスと考えられた症例を経験したので報告した。

**41. 肺癌と肺結核の合併例の検討**